

その1

農林漁業体験支援の輪、着々と拡大中！  
子ども農林漁業体験ネットワークへの参加機関が倍増しました

ネットワーク立ち上げとパンフレット発行の経緯

沖縄総合事務局では、次代を担う子どもたちの健全な育成のために、民と官の十七機関が参加した「子ども農林漁業体験ネットワーク」を昨年一月に立ち上げました。それに伴い、参加機関が実施する「農林漁業体験」や「出前授業」のメニューなどを紹介するパンフレット「農林漁業体験で子どもたちに生きる力を」を発行し、沖縄県内の全小中学校、各地域の学童クラブ、子ども会、市町村の教育委員会や農政担当課に配布しました。



やったあ～ 大収穫だ！

平成十四年に「総合学習」の時間がスタートし、これまでも「農林漁業体験」や「出前授業」は一部の学校で行われていましたが、その実施にあたっては、個々の農漁家の協力や学校の先生方の個人的なつながりに依存する部分が大きかったと考えられます。そのような状況を解消する目的で作られたのがこのパンフレットです。

パンフレットの計り知れない効果

現在把握しているところでは、玉城村の百名小学校、那覇市の安謝児童館他四つの小学校が黒砂糖工業会の指導による黒糖作り体験を、糸満市の三和中学校が農業試験場、農業改良普及センターなどの協力で地域の農家を訪問し、石垣市の大浜中学校では石垣統計・情報センターの出前授業により八重山の農業に対する理解を深めました。この他にも十七の小中学校で米に関する出前授業や学校水田での稲作体験が行われています。こうした取り組みに対する社会的関心は非常に高く、沖縄総合事務局によるプレスリリースには毎

回、県内のテレビ局、新聞社が興味を示し、ある学校水田での体験学習には四テレビ局、二新聞社が取材に訪れました。

このため、子どもたちの生き生きとした表情と同時に各地域の農林水産物がメディアに映し出され、子どもたちがそれを見て、毎日食卓に並ぶ食べ物がどこで生産されているのかを知る結果にもつながりました。



テレビの取材も子どもたちの楽しみ

全県的に広がるネットワーク

これに意を強くしたネットワーク事務局は、修学旅行生の農村体

験受け入れなどで活路を見い出そうと取り組んでいる市町村や、地域で独自に「農林漁業体験」などに取り組みつつもうまく学校などとのマッチングが図られていない機関の参加を募集するため、昨年六月から十月にかけて、本島内三カ所と宮古・八重山で地域説明会を行ってきました。その結果、今回、新たに十九機関からネットワーク参加の申込みがあり、それに併せてパンフレットの改訂を行いました。

内容はこれまでと変わりませんが、沖縄本島、宮古、八重山と地区別に分けて記載され、電話帳感覚で簡単に協力機関を探すことができるものになっています。「出前授業」や「農林漁業体験」は原則として無料ですが、材料費などの実費がかかる場合や有料のメニューもありますので、利用者の方で実施機関へご確認下さい。ネットワーク事務局では、今後参加機関の募集を随時行っています。この記事をご覧になった方で参加を希望される方や、ネットワークの趣旨に合致する機関をご存じの方はご一報下さい。



牛も一緒に「はい、ポーズ」

「子ども農林漁業体験ネットワーク」のパンフレットは、沖縄総合事務局のホームページでもご覧になれます。  
<http://ogb.go.jp/nousui/kodomo/index.htm>

ネットワーク新参加機関の横顔  
 ～きゅな牧場（大宜味村）～

きゅな牧場は、農業体験を通して自然や動物たちと触れ合い、そこで働く人達との交流を通じて、生きる力を育てる教育を支援する「教育ファーム」として、沖縄県で唯一登録されている牧場です。体験学習のメニューは、牛・ヤギの放牧見学、乳搾り、ふんかき体験など、実際の酪農の仕事の様

## 子どもたちの心に残る授業を目指して……

～「出前授業」IN 沖縄市立安慶田小学校 沖縄総合事務局農林水産部編～

子を身をもって体験するとともに、牛乳からバターやアイスクリームを作り、楽しみながら食の重要性や、そのルーツを子ども達と共に学んでいく工夫をしています。小中学校の体験学習など大人数の場合には、家族総出で作業分

担し、協力して受け入れをしています。喜友名慶子さんは、「体験受け入れを始めるのは勇気が要ることでしたが、①できることから始めてみる、②なるべく手造りでお金をかけない、③二丁はそれのつど

補っていく、という方針で、飛び込んでみました。今では、こうした体験の機会を提供することで子供たちが味わってくれる感激が自分たちの喜びとなって還ってくるのがうれしい。」と話していました。

現在、様々なレベルで「農林漁業体験」や「出前授業」が行われていますが、沖縄総合事務局でも県内の小学校で米に関する「出前授業」などを行っています。

平成十五年度は、二月末時点で十六校（三十四回）の実績があり、昨年度の七校（十五回）を上回る結果となっています。これは、前記のパンフレットの効果だと考えられますが、今回その中から、沖縄市立安慶田小学校の五年生（百十一人）が取り組んだ、田植えから収穫までの様子を紹介します。

六月某日、一本の電話がありました。「パンフレットを見て電話しました。昨年、稲を育てようと試みましたが、知識が無く断念してしまいました。今年はぜひ実現したいので協力してくれませんか」との事でした。さっそく打ち合わせに伺い、二学期に田植えを



専用の鎌を使い一生懸命収穫しました

行うことになりました。苗作りから自分たちで行い（随時、水やりや温度管理などをアドバイス）、並行して花壇にビニールシートを敷いた田んぼ作りを行いました。

の感触に奇声をあげるなどしていましたが、最後には一人二回の田植えでは少ないとの声もあがりました。

その後は日々の水やり、水を抜いて根を丈夫にする中干し、穂へ栄養を与えるための追肥（つひ）、雑草取りや害虫の駆除、穂が出た後のスズメ対策など、作業の意味を解説しながら子どもたちと一緒に取り組めました。

収穫は十二月十七日、刈り取った後、思った以上のもみの重さに感激していたのが印象的でした。収穫した稲は、自然乾燥させた後、一月十五日に脱穀から精米まで行いました。

稲からもみを取る「脱穀」は、市立博物館から借用した昔の「足踏式脱穀機」を使いましたが、今ではなかなか見られない農機具に子どもたちは興味津々、自分の番

九月十六日、いよいよ田植えの日を迎え、子供たちは、初めは泥





これが昔ながらの「足踏み式脱穀機」

が終わっても機械から離れず、次の順番の子から注意される子もいました。

もみを玄米にする「もみすり」、玄米から白米にする精米は、電動式の機械を使いました。精米機から白い米が出てきたときの子どものたちの歓声、精米されたばかりの暖かい米の感触や匂いに目を輝かせる子どもたちの表情は、何回「出前授業」をやっても感激させられます。

一人でも多くの子どもたちに、この感激を味わってもらい、そこから大切なものを感じ取って欲しいと願っています。

\*  
\*  
\*

## 国・県・団体等の出前授業など

No	機関名	出前授業・体験メニュー	時期	人数	時間	担当部署等	連絡先
1	内閣府沖縄総合事務局消費・安全課	出前授業(米の生産、流通、消費について)もみすり・精米体験及び稲の栽培指導(稲の栽培は実費程度の費用がかかります)※その他の作物の栽培に関する絵本の貸し出し	通年	1学年	2時間	食育推進係	電話:098(866)0156 FAX:098(866)0671
2	内閣府沖縄総合事務局名護統計・情報センター	農場見学の紹介・幹旋	通年	要相談	要相談	次席情報官	電話:0980(52)3970 FAX:0980(52)4352
3	内閣府沖縄総合事務局那覇統計・情報センター	魚セリ市・漁港施設・漁船などの見学、定置網漁業体験等の紹介・幹旋	通年(セリ市の休みを除く)	要相談	要相談	次席情報官	電話:098(868)1223 FAX:098(868)1915
4	農林水産省那覇植物防疫事務所	出前授業(植物の病気、植物検疫について)	6~11月	1クラス	1時間	調整指導官	電話:098(868)0715 FAX:098(861)5500
5	水土里(みどり)ネットおきなわ(沖縄県土地改良事業団体連合会)	農業体験(収穫、土地改良施設めぐり)宮古・八重山も対応可	通年	100名	半日	総務課	電話:098(888)4511 FAX:098(835)6070
6	琉球大学農学部付属亜熱帯フィールド科学教育研究センター	出前授業可、農場(西原町千原フィールド)・森林(国頭村与那フィールド)見学等	通年(8~9月まで)	要相談	要相談	担当者:平田	電話:098(895)8740 FAX:098(895)8741
7	沖縄県北部農業改良普及センター	出前授業(沖縄の農業全般)作物栽培の技術指導など(実習の場合は畑の確保と保険をかける必要がある)	5月~11月(内容によっては調整を要する)	要相談	30分~1時間程度	普及企画課	電話:0980(52)2752 FAX:0980(51)1013
8	沖縄県中部農業改良普及センター	出前授業(土作り、野菜や草花の作り方)栽培指導(かんしょ、ジャガイモ、人参)(実習は畑の確保と保険をかけ、実施の2ヵ月前に調整を要する)	5月~10月栽培指導は要相談	1クラス(30~40名程度)	1時間~2時間	普及企画課	電話:098(973)5202 FAX:098(982)6010
9	沖縄県南部農業改良普及センター	出前授業(土作り、野菜や草花の作り方)栽培指導(かんしょ、ジャガイモ)(実習は畑の確保と保険をかけ、実施の1ヵ月前に調整を要する)	5月~7月5月かんしょ、10月ジャガイモ	1クラス(30~40名程度)	1時間~2時間	普及企画課	電話:098(889)3515 FAX:098(835)6010
10	沖縄県農業試験場	出前授業(沖縄の病害虫、品種改良ほか農業一般について)※研究員の都合により対応できない場合もあります。	要相談	1クラス程度	1時間	企画管理部長安田	電話:098(884)3414 FAX:098(885)8000
11	沖縄県立農業大学校	農場・牛舎見学、農業体験やふれあい牧場	要相談	要相談	要相談	教修部:上間	電話:0980(52)0050 FAX:0980(54)2853
12	沖縄県立北部・中部・南部農林高校(久米島高校園芸科含む)	農場・施設見学・実習指導、出前授業	要相談	要相談	要相談	農場長又は学科長	(北部):0980(52)2634 (中部):098(973)3578 (南部):098(850)6006

本  
島  
周  
辺(県内全域含む)

No	機 関 名	出前授業・体験メニュー	時 期	人 数	時 間	担当部署等	連 絡 先
13	那覇市	農場見学(ネギ・ニラ・オクラ・チンゲン菜など) 出前授業については要相談	通年	30~40名	1 時間	労働農水課	電話:098(951)3209 FAX:098(951)3210
14	恩納村商工会	さとうきびの収穫・黒糖作り体験、コーヒー豆の収穫体験 出前授業については要相談	10月~3月	10~40名	2 時間	担当者: 城野 名城	電話:098(966)8258 FAX:098(966)2435
15	J A おきなわ	農場見学	通年(火・木のみ)受付も原則火・木	要相談	要相談	経済総合部 上原次長・保	電話:098(831)5565 FAX:098(840)4018
16	伊江村特産品加工施設(J A おきなわ伊江支店)	工場見学(とうがん加工品、紅イモ、落花生アイスクリームなど)	通年	要相談	要相談	食 品 加 工 セ ン ター長: 金城	電話:0980(49)2885 FAX:0980(49)2886
17	沖縄県花卉園芸農業協同組合	出前授業、実演(花壇苗作り、花作りの実際)	5月~11月	10名	1 時間	営農指導部	電話:098(860)2269 FAX:098(860)2270
18	読谷村漁業協同組合	定置網漁業体験(有料)、魚セリ市・漁港施設・漁船見学	4月~10月 要相談	12名以内 1 クラス	2 時間 程度	担当者: 山内	電話:098(956)1640 FAX:098(956)7201
19	沖縄県黒砂糖工業会	加工体験(黒砂糖作り)	11月~4月	3 クラス	4 時間	担当者: 宇良	電話:098(859)6280 FAX:098(859)6281
20	日本分蜜糖工業会	製糖工場見学	1月~3月	1 クラス	30~40分	担当者: 玉城	電話:098(869)0417 FAX:098(869)0431
21	社団法人沖縄県調理師会	出前授業(地元食材を使った調理実習、講話)	通年	1 クラス 1 学年	要相談	調理師会	電話:098(863)2882 FAX:098(863)2893
22	沖縄県健康食品産業協議会(有限会社 沖縄長生薬草)	出前授業、農場見学(薬草、ハーブの紹介、効能)	通年	1 クラス 1 学年	1 ~ 2 時間	沖縄長生薬草総務部	電話:098(947)3214 FAX:098(947)3219
23	きゆな牧場	牧場見学、乳しぼり体験、バター・アイスクリーム作り 野菜作り農園(畑の貸し出し)	通年	要相談	要相談	担当: 喜友名	電話:0980(44)2170 FAX:0980(44)2170
24	有限会社 ユートピア牧場	牧場見学、乳しぼり・乗馬体験(有料、団体割引あり)、動物(うさぎ・ポニー・羊)への給餌、羊毛カット	通年	20名以内	要相談	担当者: 屋宜	電話:0980(47)6216 FAX:0980(47)6216
25	有限会社 玉城牧場牛乳	農業体験(乳しぼり)、牛乳工場見学など	通年	5~15名	1 時間	担当者: 玉城	電話:098(945)5183 FAX:098(944)0113
26	株式会社 沖縄県種苗センター	出前授業(花の苗作り等) 要相談	通年	20名~ 30名	30~40分	業務部 上江洲	電話:0980(55)2578 FAX:0980(55)2673
27	内閣府沖縄総合事務局 平良統計・情報センター	体験農家・漁家の紹介	要相談	要相談	要相談	次席情報官	電話:0980(72)4772 FAX:0980(73)2119
28	沖縄県宮古農業改良普及センター	出前授業(沖縄の農業全般)、作物栽培の技術指導など	通年	要相談	要相談	普及企画課	電話:0980(72)3149 FAX:0980(72)8044
29	沖縄県立宮古農林高校	農場・施設見学・実習指導、出前授業	要相談	要相談	要相談	農場長又は学科長	電話:0980(72)2249 FAX:0980(72)7790
30	うむやす会(伊良部町内)	さとうきびの収穫及び黒砂糖作り体験 追い込み漁	12月~3月 4月~10月	40人程度 40人程度	4 時間 5 時間	代表者: 富谷	電話:0980(78)5852 FAX:0980(78)5852
31	内閣府沖縄総合事務局 石垣統計・情報センター	農場見学の紹介・斡旋、出前授業可	通年	要相談	要相談	次席情報官 次席統計官	電話:0980(82)2324 FAX:0980(82)1097
32	沖縄県八重山農業改良普及センター	出前授業(沖縄の農業全般) 体験学習(ジャガイモや草花の栽培指導)(実習は実施の2ヶ月前に調整を要する)	7月~12月 9月~2月 (要相談)	1 クラス (30~ 40名 程度)	1 時間 要相談	普及企画課	電話:0980(82)3497 FAX:098(83)4054
33	沖縄県立八重山農林高校	農場・施設見学、実習指導、出前授業	要相談	要相談	要相談	農場長又は学科長	電話:0980(82)3955 FAX:0980(82)3751
34	社団法人 沖縄県肉用牛生産供給公社	農場見学など	通年	20名	1 時間	業務課	電話:0980(82)5789 FAX:0980(82)5790
35	社団法人 石垣畜産センター	農場見学など	通年	20名	1 時間	石 垣 畜 産 セ ン ター	電話:0980(86)8429 FAX:0980(86)7184
36	サバニクルーズ石垣島	漁体験(小型定置網・カゴ網) 石垣島周辺海域	10月~6月	午前10名 午後10名	約2時間 午前・午後 各1回	担当者: 仲田	電話:0980(82)0970 FAX:0980(82)5147